



🐾 どうして繁殖制限が必要なのでしょう？

一般に飼われる動物のほとんどは、たくさん子どもを産みます。自由に繁殖できる状況では、あっという間に数が増えてしまいます。しかし、動物を飼う空間や、世話をする人手や時間、経済的条件は限られています。次々と生まれる動物をすべて飼うのも、責任ある新しい飼い主を探すのにも限界があります。きちんと世話できる数以上の動物をかかえてしまうと、掃除が行き届かなかったり、一匹一匹に気を配れなくて健康を害してしまうなど、動物を苦しめるばかりでなく、臭いや騒音で近所の人たちにも大きな迷惑をかけてしまいます。

また、現在、年間約 **40万頭**の犬や猫が、飼う人がいないという理由で殺処分されています。その多くは、子犬や子ネコです。数が多すぎるという理由で、寿命を全うせずに死んでいく動物の問題を解決するためにも、繁殖制限は必要なのです。

🐾 不妊・去勢手術はかわいそう？

かわいそうだから、不妊・去勢手術はしないという声をききます。確かに、健康な体にメスを入れることには抵抗があるかもしれません。しかし、動物は本能で繁殖を行います。不妊・去勢手術も行わないが、繁殖もさせないというのは動物にとって大きなストレスとなります。不妊・去勢手術は、一回の処置で一生、望まない命を生み出さない、とても効果的な繁殖制限措置であるだけでなく、性ホルモンの影響や繁殖に関するストレスをなくすため、健康面や行動面にも様々なメリットがあります。

🐾 健康面でのメリット

動物の病気やケガには、繁殖行動や性ホルモンに関係しているものが多くあります。不妊・去勢手術により、多くの病気が軽減され、より健康に長生きすることができます。

メスでは、不妊手術により、発情・妊娠・出産による肉体的負担や、交尾でうつる病気、生殖器の病気、性ホルモンの影響による病気のリスクがなくなります。

オスでは、性ホルモンは攻撃性や支配性、縄張り意識、活動性を高めるので、去勢手術により、精巣の病気や交尾でうつる病気、性ホルモンの影響による病気のリスクがなくなるだけでなく、なわばりやメスをめぐるケンカでケガを負ったり、交通事故など思わぬ事故に遭うことが少なくなります。

